

第26号

2010年11月10日発行
(平成22年)

佐渡 市議会だより

■発行:佐渡市議会
■責任者:金光英晴
◆編集:議会報編集特別委員会
●〒952-1393 新潟県佐渡市河原■本町394番地
●☎(0259) 57-8133
●HP:<http://www.city.sado.niigata.jp/>



9月定例会

定例会の概要、
常任委員会活動報告

2

一般質問 ここが聞きたい、
緊急質問

4

行政視察報告

14

主な議決結果について

15

議会のうごき、行政視察来市状況、
編集後記

16



善知鳥(うとう)神社例祭
(榎川祭り)

を追加し、総額457億5,370万1,000円 案を含む24議案等を可決。

③ 財産の無償譲渡

月布施公■の公衆トイレ及びシャワー施設について、地元地縁■体に無償譲渡することを認めました。



月布施公■ シャワー施設



月布施公■ 公衆トイレ

④ 両津港北埠頭地区開発事業 補正額 2億7,423万5,000円

観光客の玄関■である両津港に、情報発信の拠点として観光施設の整備を行う。



県港湾空港庁舎

市|民|厚|生

施設の老朽化により改築が急がれることや今後の人■減少もふまえ、市民の期待に応える将来を見すえた施設のあり方を検討するため、佐渡市内の火葬場を視察しました。



小木 三香苑

産|業|建|設

冬期風浪による被害を防ぐための措置として50トンの消波ブロックを設置し、防波堤の機能が強化される予定の北狄漁港を視察しました。



北狄漁港

歳入歳出それぞれ22億9,744万3,000円 とする平成22年度佐渡市一般会計補正予算

◆9月定例会での主な審議事項

① 佐和■休■急患センターの廃止条例

本年10月末■をもって現在の佐和■休■急患センターを廃止し、11月1■から佐渡総合病院内に移設するため条例の廃止を認めました。



佐和■休■急患センター

② 介護施設の充実

介護施設整備で入所待機者の解消等をすすめるために、介護サービス事業者の施設整備に対する助成することを認めました。これにより23年度から特養20床、短期入所12床、グループホーム36床等の枠が広がる予定です。(予算1億810万円)



歌代の星

行政の
今を

見る

常任委員会
活動報告

総務|文教

佐渡市陸上競技場の予定地(真野地区)を視察。駐車場の問題を中心に視察しました。



佐渡市陸上競技場予定地

9月定例会では18人の議員が登壇し、市の考えをいただきました。
一般質問での答弁要旨を各議員からの寄稿で掲載しています。



一般質問



ココが聞きたい!!

近藤和義議員 資源や税金のムダ使い	中川隆一議員 建設してよいのか	小保言純議員 諸課題について	小杉邦男議員 「観光センター」の整備を急げ	大桃一浩議員 問題解決に真剣に取組め	村川四郎議員 民間委託の検討も	岩崎隆寿議員 新しい視線でスポーツ振興を	廣瀬擁議員 佐渡市医療技術者奨学金貸与条例の見直しについて	中川直美議員 「地域福祉計画」に行政の出先は必要	猪股文彦議員 佐渡汽船・市の大幅な株式取得で発言強化を	本間千佳子議員 学区解放について	中村文夫議員 住民サービスの視点で	中村良夫議員 安心して暮らせるのが一番	加賀博昭議員 「おおさど丸」の代替船に	根岸勇雄議員 佐渡航路にかかわる問題点	祝優雄議員 岸の雄の確保は当然	金子克己議員 市社会教育行政を機動的に	松本正勝議員 「おおさど丸」故障欠航に関する問題について
13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4

一般質問

おおさど丸故障欠航に関する 諸問題について

松本 正勝 議員



質問 今■の「おおさど丸」故障欠航事故は、採算重視に走るあまり危機管理能力が欠如し、果たすべき公共交通機関の使命をおおさど丸にした佐渡汽船の経営体質が露呈された。とくに主機異常を呈するなどは恥ずべき人災ではないかとの声もある。これに関連する諸問題について佐渡市の対応及び見解を問う。

市長 市としては佐渡汽船に対して今■の事態を招いた原因を究明して強くその改善方法・正常化を申し入れた。島民・帰省客・観光客から多くの批判を受ける一方、すぐ代替船の申入れをしたが、社内混乱のせいか対応がよく見えなく再度、再度申入れた。おおさど丸は、佐渡市が謝るべきではないのは建前で、一義的には佐渡汽船が謝罪する。市は観光協会と一緒になって、市に關係のあるものについて当然おわびをしなければいけないが、あくまで誘客支援のトップセールスにつなげていきたいと考えている。老朽化については、調査

害者は佐渡島民だ、何をおわびするのか筋が違うと思うが。

質問 交付金で公共事業として船を造るなら、佐渡市も船の大きさや建造費などを含めて、ある程度の意見は述べるべきと思うが。

交通政策課長 この事業がもし採択になれば、■の交付金プラス市の持ち出しも35%になるので、当然これについては市と議会も含め市民と相談して佐渡市に良くなるように、■出しや意見を述べさせてもらうことは必要だと思う。この件については、まさに県と申請先の北陸地方整備局のヒアリング中である。

委員会の結果を待ちたい。新造船については、現在交付金の対応の可否も含めて県に調査を依頼中だが、正確には返答はまだない。